

# 人材養成基礎講座

## ～その一歩を踏み出すために～



今回の「人材養成基礎講座」では、「男女共同参画」とは何か、また、なぜそれが必要なのかを4回の連続講座を通して一緒に考えました。

多彩な講師の皆さまのご経験に裏打ちされたお話、受講生同士の話し合いを通して、一人ひとりが「男女共同参画」について改めて考える時間になったようです。

1

### 男女共同参画の基本の“き”

～男性も女性も生きやすい社会を～



講師

松山市男女共同参画推進センター  
館長 鎌田 サチ子



第1回目は「男女共同参画の基本の“き”」というテーマで、ライフステージから男女共同参画を考えました。それぞれが自分のライフステージを振り返りながら、男女共同参画を身近なこととして捉えるために必要なことを話し合いました。

アンケートの「男女共同参画の推進にとって何が必要だと思いましたか?」という質問には、「自分らしく生きようとする意識を持つこと」(50代・女性)、「子どもへの教育、周知・徹底するための広報・イベントの実施、行政・地域・市民一人ひとりの地道な継続した活動」(50代・男性)などのご意見をいただきました。

2

## 人の成長こそが企業を強くする ～社員が能力を発揮する仕組みづくり～



講師

株式会社パルソフトウェアサービス  
代表取締役 高市 眞一 さん



「一人ひとりの社員が、自分の夢を実現できる会社でありたい。」という理念をお持ちの高市社長。会社での取り組み、そしてご自身の夢についても熱く語っていただきました。また、講座の後半には受講生から高市社長への質問タイムもあり、丁寧に答えていただきました。高市社長の笑顔と経験に基づく力強い言葉は、受講生の心に強く響いたようです。

講座に参加して、どんなことが印象に残りましたか？

社長さんがとにかく前向き、元気でいらっしやること。失敗の定義→経験が積み上がること、というのは自分がすぐにマイナスに考えてしまうので目からウロコ、でした。

時代の変化と共に変われる自分でありたいと思います。(30代・女性)

仲間に感謝し、チャレンジすることを忘れず、目標を持って仕事をしていくことが大切だと再認識しました。(40代・女性)

やはり現場の経営者の言葉は迫力があつた。(40代・男性)

高市社長の何事もプラス思考でチャレンジされていることに感動。勇気をくれました。(50代・男性)

企業とは関係のない世界に居る私ですが、広い意味で通じるものがあると思われ、心に響きました。(60代・女性)

3

## 自分の考えを伝えること

～あなたの力を社会で活かすために～



講師

一般社団法人えひめ若年人育成推進機構

常務理事 大内 由美 さん



「一人ひとりが考えて、意見を持つことの大切さと伝え方」を大内さんの豊かなご経験からお話してくださいました。

自分の考えを伝えるためには、自分の価値観や強みを知ることも大切。後半はカードを使っ  
てのワーク。それについてグループで話し合いました。「自分はどんなことが大切で、どんな  
特徴を持った人なのか？」を見つめ直し、再発見する時間になったようです。

講座に参加して、どんなことが印象に残りましたか？

カードを使ってのワークで自分を分析するきっかけになって、おもしろかった。日頃、なかなか口に出して話さない夢や考えを同じテーブルの方たちと話すことができ、とても良かった。(30代・女性)

自分が大事にしたいことを絞っていく作業は気づきを与えてくれました。自分の強み（自分が思っていることと、他から見えることは違うかもしれませんが）は、なかなか言葉にできないけれどヒントになりました。(30代・女性)

人それぞれカードは違うけど、話し合えば皆同じような考えを持っていると感じた。カードを使って自分を分析してみて、また違う角度から自分について考えることができ良かったと思います。ありがとうございました。あっという間のひとときでした。(60代・女性)

4

## 交流座談会



～つながろう つなげよう 男女共同参画の輪～



アドバイザー  
松山東雲短期大学  
教授 桐木 陽子 さん



最終回は松山東雲短期大学 教授 桐木陽子さんをアドバイザーに迎え、交流座談会を行いました。多様性を受容する社会をつくらない限り、男女共同参画社会は実現しないのではないかと。それを阻むものは何か、必要なものは何か、ということをも「教育」・「子育て」・「地域」・「職場」等のテーマごとにグループで話し合いました。

受講生の方には「決意表明」と共に、そのためにどう一歩踏み出すかを書いていただきました。今回の講座が、受講生の方が一歩踏み出すための一つのきっかけになれば嬉しく思います。

講座に参加して、どんなことが印象に残りましたか？

いろいろな世界の人たちと少しお話して、共感することや意見も聞けて良かったです。(30代・女性)

たくさんの人とお話できて良かったです。(40代・女性)

それぞれ立場によって考え方が違い、自分以外は皆「教えてくださる方」と感じました。(60代・女性)

障害者、健常者、それぞれ個性を伸ばして発揮できる社会になれば良いと思いました。(60代・女性)



全4回の講座を修了して、男女共同参画の必要性について理解できましたか？

→ 理解できた (52.9%)、少し理解できた (35.3%)

女性の労働力が重要だということを改めて感じました。

性別や障がいなどで考える・区別するのではなく、その人個人の能力をきちんと見ていかなければならないと思います。(20代・女性)

男女関係なく力が発揮できる場や社会でありながらも、それぞれの特性も発揮できる場や社会にしたいと思った。(60代・女性)

感性から変えていかなければならない。(50代・男性)

女性の社会参画という目的だけではなく、男性も女性も誰もが生きやすい社会になるということがよく分かった。お互いの立場を考えれば、自然にできるはずなのでしょうが、なかなかできないのが現状ですね。女性の方が多いのだから・・・(笑) (40代・女性)



男女共同参画を進めていくために、  
ご自身なら、日常生活の中でどんなことができるとお考えですか？



個々人の「できること」、「良いところ」を見て、男性・女性問わず、皆が能力を発揮できるよう、意識を変えていくこと。(20代・女性)

家族ができる時にできることを、押し付けるのではなく、お互いの気持ちを考えてやっていけるといい家族関係が築けるのではないかと思います。(40代・女性)

先入観、思い込みをできるだけ外す努力をしたいです。(30代・女性)

男女の枠を取り払って保育することを心がけていく。(30代・女性)

一人ひとりの良さを活かす、特性の理解。そのためにはコミュニケーション力も大切ですね。(60代・女性)

心的バリアーを取り除く。(50代・男性)

